



消費税基礎講座（オンライン研修：6月12日～6月23日）

水道業務に従事する事務系職員（経営に関する経験3年未満）の方々32名の参加を得て、「消費税の概要」、「消費税における取引の種類」、「消費税の会計処理」、「消費税申告の概要・計算」、「消費税（国税）の計算」、「地方消費税の計算」について、オンデマンド配信方式によるオンライン研修を実施した。

第188回水質試験方法等調査専門委員会（6月14日）

はじめに、関東厚生労働省水道課水道水質管理室基準係長から、水道水質管理の最近の動向や水道整備管理行政の機能強化に関する情報提供があった。

議事に入り、五十嵐委員長進行の下、震災等の非常時における水質試験方法の改訂検討会の進捗、非イオン界面活性剤の検査におけるアスコルビン酸ナトリウムを用いた残留塩素除去に関するバリデーションの結果、及び水質検査告示法における試薬等の調製量のスケール変更に関して報告した。

その後、無機物、有機物、微生物・生物の各部会に分かれ、それぞれの検討課題に関して討議した。なお、震災等の非常時における水質試験方法の改訂検討会については、水質試験方法等調査専門委員会全体会に先立ち検討・討議を行った。

水道基礎講座（大阪会場第1回：6月14日～17日、大阪会場第2回：6月28日～6月30日）

水道業務に従事する新規採用職員（事務系・技術系）の方々125名（大阪会場第1回75名、大阪会場第2回50名）の参加を得て、「水道概論」、「水道経営」、「水道システム概論」について、水道事業全般にわたる基礎知識に関する研修を実施した。

水道事業事務研修会（経営初級コース）（6月20日～22日）

水道業務に従事する事務系職員（水道歴概ね3年未満）の方々78名の参加を得て、「水道概論」、「水道経営」、「水道事業における会計実務の基礎」、「会計実務～例題・演習～」、「水道事業における消費税及び地方消費税の会計処理」、「経営分析」について、経営の実務を中心とした研修会を実施した。

第184回水道 GLP 認定委員会（6月21日）

水道 GLP 認定について審議した結果、佐賀東部水道企業団（JWWA-GLP070）、北千葉広域水道企業団（JWWA-GLP071）、長野市上下水道局（JWWA-GLP115）、一般社団法人群馬県薬剤師会（JWWA-GLP116）、高槻市水道部（JWWA-GLP117）及び一般財団法人北陸保健衛生研究所（JWWA-GLP118）の認定更新を決定した。

また、一般財団法人中部微生物研究所（JWWA-GLP037）の認定維持、並びに吹田市水道部（JWWA-GLP030）、株式会社東洋環境分析センター（JWWA-GLP122）、滋賀県企業庁（JWWA-GLP123）、株式会社エステム（JWWA-GLP143）及び株式会社保健科学東日本（JWWA-GLP144）の認定延長を決定した。

第37回給水装置に関する規格専門委員会（6月22日）

水道用ライニング鋼管用管端防食形継手（JWWA K 150）及び水道用耐熱性硬質塩化ビニルライニング鋼管用管端防食形継手（JWWA K 141）について、関連する JIS 規格及び JWWA 規格との整合を図る必要があること、現在製造されている製品に関する事項を規格に反映させる必要があるため、第2回目の委員会を開催し、規格改正についての審議を行った。

なお、上記の規格改正案は、8月に開催予定の第203回工務常設調査委員会へ上程する予定である。

企業会計基礎研修会（6月26日）

企業会計に携わった経験が少ない方々54名の参加を得て、「企業会計の基礎」（講師：長岡千晶 税理士法人長岡会計 公認会計士・税理士）について、企業会計の概念から勘定科目、決算書類の見方に関する研修を実施した。

第1016回会誌編集委員会（6月27日）

本誌7月号、8月号の編集方針、投稿原稿の査読等について審議を行った。



漏水防止講座（東京会場第1回：6月27日～29日）

漏水防止業務に従事する技術系職員の方々58名の参加を得て、東京都水道局研修・開発センターにおいて研修会を実施した。第1日目及び第2日目に「漏水防止概論」、「漏水防止の現状と課題」、「漏水防止作業」、「漏水探知技術」、「漏水機器の取り扱い」について講義を行い、最終日には、漏水防止関連機器を使っでの実地研修を行った。

令和5年度第2回理事会（6月29日）

青木理事長が議長となり、報告事項として「公益社団法人日本水道協会の会務」について報告した。

続いて議案の審議に入り、第1号議案「公益社団法人日本水道協会第102回総会の運営」、第2号議案「会員の入会」について計2題が上程され、審議の結果、それぞれ原案のとおり決定した。



第102回総会（6月29日）

第102回総会が、砂防会館別館「シェーンバッハ・サボー」において、来賓、会員、関係者約350名の参加を得て、盛大に開催された。

開会式においては、日本水道協会を代表して青木理事長から挨拶があり、次いで厚生労働省大臣官房生活衛生・食品安全審議官（代読：名倉医薬・生活衛生局水道課長）、総務省自治財政局長（代読：橋本公営企業経営室長）から来賓祝辞があった。



開会式



本協会代表挨拶：
青木理事長



厚生労働省大臣官房生活衛生・食品安全審議官祝辞：
名倉医薬・生活衛生局水道課長



総務省自治財政局長祝辞：
橋本公営企業経営室長



監査報告：増子監事

開会式の後、定款の定めにより青木理事長が議長となり議事に入った。

第1号議案「公益社団法人日本水道協会役員の改選」について、事務局より提案資料に基づく説明があり、審議の結果、原案のとおり新役員を決定した。

続いて、第2号議案「公益社団法人日本水道協会運営会議委員の改選」について、事務局より提案資料に基づく説明があり、審議の結果、原案のとおり新委員を決定した。

第3号議案「令和4年度公益社団法人日本水道協会会計決算の承認」について、事務局より提案資料に基づく説明があり、審議の結果、原案のとおり決定した。

なお、第3号議案については、事務局の説明に続き、監事を代表して増子敦氏から監査報告があった。

次に、報告事項として「令和5年度公益社団法人日本水道協会会計予算」、「令和6年度水道関係予算の陳情」について、事務局より資料に基づく説明があった。

続いて、第3回理事会の審議結果について、事務局より説明があった。

同理事会にて代表理事に選定された青木理事長より挨拶があり、本総会の議事を終了した。

総会終了後、「水道における脱炭素化の更なる推進について」と題し、東京大学大学院工学系研究科都市工学専攻教授 滝沢智氏を講師に迎え、特別講演を開催した。



講師：滝沢智東京大学大学院教授



特別講演の様子

令和5年度第3回理事会（6月29日）

青木理事が議長となり、第1号議案「代表理事の選定」について上程され、審議の結果、青木理事が代表理事に選定された。

次に、第2号議案「公益社団法人日本水道協会第103回総会の開催及び開催通知の送付」について上程され、審議の結果、原案のとおり決定した。

続いて、第3号議案「水道行政の移管に向けた検討委員会の設置」について上程され、審議の結果、原案のとおり決定した。



未納料金対策実務研修会（東京会場第1回：6月29日～30日）

水道料金徴収業務に携わる方々46名の参加を得て、未納料金対策（給水停止、支払督促等）について実務を中心とした研修会を実施した。

また、グループ別のディスカッションでは、「未納発生を予防する対策」等について活発な情報交換が行われた。

第67回国際委員会（7月4日）

はじめに正副委員長の互選が行われ、委員長に横浜市水道局の江夏氏、副委員長に北海道大学の松井名誉教授が選任された。

次に報告事項として「令和4年度国際活動」、「令和5年度 国際研修実施予定」、「第9回 IWA-ASPIRE 会議・展示会（台湾 高雄市）について」、「令和5年度 JICA 課題別研修「上水道施設技術総合：水道基本計画設計（A）」実施予定」、「ISO/TC224等上下水道関連国際標準化の動向」について、それぞれ事務局から報告を行った。

なお、「令和4年度国際活動」については国別水道事業研修（台湾）に参加した研修生とオンラインで接続し、報告を行った。

その後、審議事項として、「令和6年度国際研修計画」について原案のとおり了承された。



消費税実務講座（7月6日～7日）

水道業務に従事する事務担当者の方々55名の参加を得て、「国・地方公共団体の消費税」、「地方公営企業の消費税等の予算経理及び会計処理」（講師：中田ちず子 中田ビジネスコンサルティング代表 公認会計士・税理士）について、消費税の実務的な理論や会計処理についてワークシートを用いた演習を主体に研修を実施した。

第773回抄録委員会（7月7日）

本誌10月号・11月号に掲載する外国文献の抄録内容について審議を行った。



第196回水道統計編纂専門委員会（7月7日）

水道協会雑誌8月号へ掲載する「水道統計経年分析（令和3年度）」の原稿について、各委員より提出された修正内容の審議を行い、了承された。

